



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“ロータリーに輝きを”

RI会長
ゲイリー C.K.ホアン
2570地区ガバナー
坂本元彦

「行動，ACTION」

第2643例会 2015. 4. 15

—— 雑誌 月 間 ——

天候 晴 (NO. 51-42)

会長 山川 莊太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 塩野君、沢辺君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 山川会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 大野 康会員

◎石井道夫会員 金婚式おめでとう

◎中里昌平会員 「クラブ旗」製作への感謝状

【入会式】

◎新入会員紹介

土屋(崇)君
大野泰規(おおのやすのり)様 S42年、飯能市のお生まれ。一小、獨協中・高校から東邦大学薬学部衛生薬学科に入学。卒業後、H3年、田辺製薬に入社。H4年、お父様が社長の(有)ドラッグおおのに入社。同年、専務取締役就任。H16年、(株)ヴェルペンファルマに社名変更。H4年、薬剤師、H12年、介護支援専門員の免許取得。H19年、飯能JC理事長。H23年から社会福祉法人飯能市社会福祉協議会評議員。従業員100名、薬局8店舗、介護施設、高齢者向け住宅、地域包括支援センターを運営。



◎大野(泰)会員挨拶

どうぞよろしくお願ひ致します。

◎会長よりバッジ贈呈／職業分類「薬局」／所属委員会「会報・広報」／歓迎の言葉／誓いの言葉／額・四つのテスト・バナー・資料贈呈

◎乾杯：神田(康)会員

【会長報告】

吉島年度に50周年委員会を作り、安藤年度はバッジ製作、吉田年度には全面協力を頂きました。記念事業、会場設営、登録、受付、会場

案内、接待、アトラクション、記念品、表彰、国際親善、夫人担当、広報、記念品、記録、救護、財務、式典、懇親…各皆様のお働きにより、4/4式典を無事行う事が出来ました。大勢のロータリアンが集まり、盛大かつ厳粛に挙行。RI元会長・田中作次様による記念講演、塩野、市川会員にはお迎えに行って頂きました。鍛鉄による時計塔モニュメントを市に寄贈。加治中吹奏楽部にはティンパニを寄贈、記念演奏して頂きました。最新機械による最高技術の織物のクラブフラッグ2旗を中里(昌)実行委員長より頂戴。坂本ガバナーに祝辞を頂き、財団・米山に寄付。立派な記念誌を当日配付出来ました。会場もオレンジ色のナプキンが映え、素晴らしいセッティングでした。心より御礼申し上げます。

【幹事報告】

4/22「事務所移転」に関して臨時理事会。
4/28式典反省会 18時～開催します。

【委員会報告】

◎次期幹事

土屋(崇)君

4/19地区協議会はバスをご用意。21～25日、次年度座談会。変更希望は私まで。

◎雑誌委員会

前久保君

今月は「雑誌月間」。心を込めてお読み下さい。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・金婚にてお祝い頂き恐縮しております。有難うございました。 石井君

・結婚記念日お祝い有難うございます。 矢島(巖)君、小川君

・大崎さん 50周年記念ゴルフでは大変お世

話になりました。 矢島(巖)君
 ・皆勤賞を有難うございました。 橋本君
 ・入会記念有難うございました。
 安藤君、土屋(良)君、島田君、坂本君
 ・誕生祝有難うございます。
 大附君、沢辺君、伊澤君
 ・妻の誕生日お祝い有難うございます。
 神田(康)君、坂本君
 ・大野泰規さんご入会おめでとうございます。
 山川君、間邊君、小川君、高橋君、矢島(高)君
 細田(伴)君、神田(康)君、新井君、和泉君、田辺君
 土屋(崇)君、前島君、川口君、吉澤君、福島君
 ・早退 安藤君、吉田(武)君
 本日計 77,000 円、累計額 1,035,636 円。
 ◎ 22日例会当番は坂本、土屋(良)会員です。

【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
59名	6名	52名	88.14%	82.76%

【M U】

4/5 (地区) 土屋(良)君
 4/9 (東京池袋) 半田君

【結婚・誕生日祝】 森親睦活動委員長

- ◇入会記念日おめでとう
安藤君、島田君、土屋(良)君、高橋君、坂本君、前久保君
- ◇結婚記念日おめでとう
石井君、増島君、矢島(巖)君、小川君、吉田(武)君、前島君
- ◇会員誕生日おめでとう
1 本橋君、17 伊澤君、18 大附君、23 沢辺君
- ◇夫人誕生日おめでとう
6 柏木夫人、坂本夫人、23 神田(康)夫人

【卓 話】

10年後の飯能市を支え合うために
 ~はんのうふくしの森プランと地域包括ケア体制構築~

飯能RC 大野 康会員

入会10年目。原市場に歯科医院を開業して22年。クラブで4番目の若手です。私の関わっているこれからの高齢者対策について知って頂き、飯能市のためにご協力頂ければと考えてお話しします。

「2025年問題」「消滅可能性自治体」と言われます。飯能市の人口約8万人は10年後、7万6千人に減り、高齢者、要介護の人の人口は増えるという推計がある。ビートルズを聴いて育った団塊の世代が75才になるのが2025年。高齢者が増えるというのは、実は社会に経験、知恵が増えるという事で喜ばしい事。ピンチをチャンスととらえるのが大事だと思います。「増田レポート」の欠点は、今住んでいる人の数字だけで勝負しているところ。住民票が無くても、例えば私の家内は、いわきに毎月のように行って向こうの地域も支えている。地域を越えた交流を抜きにして「消滅」の不安感を煽るのは如何なものかと思えます。

そこで、乗り越えるためのキーワードとして[映像使用]「ふるさと」を意識して取り組むと全然違ったものになる。観光客はそこを「ふるさと」だと思っていないから傷つけてしまう。さくらまつりに粗大ごみを置いていく。ここが「ふるさと」だと思ってもらえるような飯能市にして、住み着いて下さる方がい



たら万々歳、という発想も大事かなと思います。「ふるさと」を考える時には自立と協働を合言葉に。やってくれるのを待つのではなく自分達の事は自分達で、お互いに来る事は対等のパートナーシップで助け合ってやっていく。公共も民間も仲良く。毎日変わっていく「森」の多様性を認める、いろんな人が住んでいるのを認める、独自性を認めて協働する。まさに「森」です。

「第2次はんのうふくしの森プラン」は全部行動計画、「ふだんの・くらしの・しあわせ」が感じられる地域を作っていこうというものです。市・市民・社協の3つがRCの歯車のように絡まり合っていていく。私は市民の立場で多くの方を巻き込んでやっていきたい。原市場地区社協の副会長をしている関係で、推進市民会議の準備会代表をやっています。企業や医療機関等、地域になくてはならない組織・団体を地域の大事な資源として、一緒になってやっていきたい。皆様にお声掛けをさせて頂くこともあるかと思います。

「地域包括ケア体制の構築」というのは「2025年問題」を乗り切るための「国策」です。人口1~2万人の地域内(中学校区)で、高齢者の医療・介護等の課題を解決してしまおうというものです。私も市の介護保険事業計画に第1期から関わり、先日、第6期がまとまりましたが、今、増島先生が会長、私は副会長という立場で飯能市版「地域包括ケアシステム」を考えています。税金をかける事が難しくなり、行政がやる事はやるけれども、そうでない部分は地域の方に、という「ふくしの森」の力も加えて行かなければ成り立たないという話なのです。他の自治体は「高齢者対策」と言って厄介者扱いのようですが、飯能市は高齢者を大切にします。高齢者は「地域の宝」です。大人、高齢者が元気になるのは、子どもと関わった時。式典でも、皆さん一番いい笑顔になったのは、加治中の生徒達の姿を見ている時でした。

「地域包括支援センター」をまとめる運営等協議会の会長を数年前から務めています。今年度からは社協が重要なポジションを担って、そこに民間のいろんな職種の方が絡んでいくという事を構想しています。

多職種連携座談会「ワールドカフェ」を、医師会等で同じ組織の、飯能・日高で立ち上げました。「飯能が幸せになるのなら日高も」というので日高市役所も引っ張り込みました。前向きな発言と気づきに溢れた、決定にはやや不向きな会。会長が土屋(崇)先生、副会長が私。原市場で担っています。「高齢者及び障害者虐待防止等ネットワーク会議」の会長は小川先生、副会長は私です。歯科医師会でも8市3町の統括責任者として頑張っています。

これからは「地域を超えて、世代を超えて、ふるさと飯能市を創る」こと。元気を出すにはどうしたら良いでしょうか。[映像使用]

飯能RCにはオピニオンリーダーとしての役割が期待されています。高齢者を大事に、若者を巻き込み、「ふるさと飯能市」を創ることを目指すという機運をご発言等から醸成して頂きたい。そして企業の社会貢献。飯能を傷つけない、上質な観光客を招くために、また来てみたくなるような「自分のうち」を目指していくといいのではないかと思います。

※次週の例会案内は省略。